

みんなの給食

～給食からSDGsを考える～

令和4年11月 甲斐市教育委員会・甲斐市栄養士会 第1号

今、世界では、貧困、飢餓、気候変動、戦争など様々な問題が起きています。このまま、この問題が続くとみなさんが大人になる頃には、この地球も私たちの生活も取り返しがつかないこととなります。こうした問題を世界中の人々が協力して解決していくために決められた目標が「SDGs」です。「SDGs」とは、「Sustainable Development Goals」の頭文字を取った呼び名で、日本語では「持続可能な開発目標」と訳し、17の目標があげられています。

甲斐市では、学校給食をきっかけに小中学生、保護者、地域の方々にSDGsについて関心を高め、目標達成に向けて取り組みを進めてほしいと思い、「みんなの給食～給食からSDGsを考える～」を実施することになりました。現在、学校や保育所で行われているSDGsに関する取組を紹介します。



12 つくる責任 つかう責任

地場産物を積極的に取り入れる。

甲斐市内の学校や保育所から出される野菜くずや給食の食べ残しが回収される。

配布された肥料は生産農家が畑で使い、野菜を作る。

農地に還元

給食等



回収



わ リサイクルの環

令和4年5月から一般家庭の生ゴミも受け入れるようになりました。

微生物の発酵分解で肥料にする



バイオマスセンターに搬入



古くなった食器を業者に引き取ってもらい、リサイクルする。

12 つくる責任 つかう責任

残菜をバイオマスセンターで肥料にする。

7 エネルギーを上手に使う